

令和 7 年度 授業改善推進プラン 1 年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	特殊音節の理解や語彙の習得に個人差があり、自分の思いを文字に表すことが難しかったり、適切な言葉が思い浮かばなかったりする児童がいる。	1 か月に 1 回、朝学習や授業中に MIM（多層指導モデル）を活用し、特殊音節や語彙を獲得していくことを目指す。また、友達と感想を伝え合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を増やし、表現力を高める。	
算数	- 問題文を読み、内容を理解し、立式や計算することが難しい児童がいる。 - 単純な計算や具体物を使っての計算の段階でつまづいてしまう児童がいる。	- 問題文を読み理解することに慣れることが必要なため、5 分程度でできる文章題のプリントを行い、問題の習熟を図る。答え合わせの際、重要な単語の確認をし、数字を抜き出して立式する方法を毎回学級全体で確認する。 - 教科書の問題を解き次第、プリント学習に取り組ませることで、習熟に時間がかかる児童に個別指導する時間を設ける。	
体育	これまでの生活や遊びの中における経験不足から、持久力、投力が弱い児童が多い。	- 準備運動後に走る遊びや鬼遊びを行う時間を毎時間設定し、継続的に行うことで持久力を養う。 「体づくりの運動遊び」の学習で、投げる運動の時間を多く取るようにして経験を積み、投力を伸ばす。	